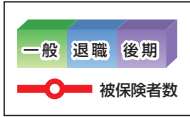
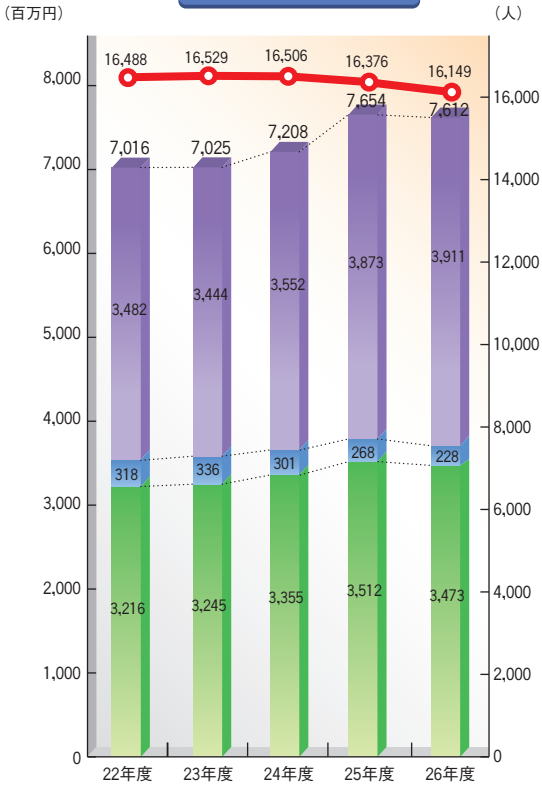


壬生町

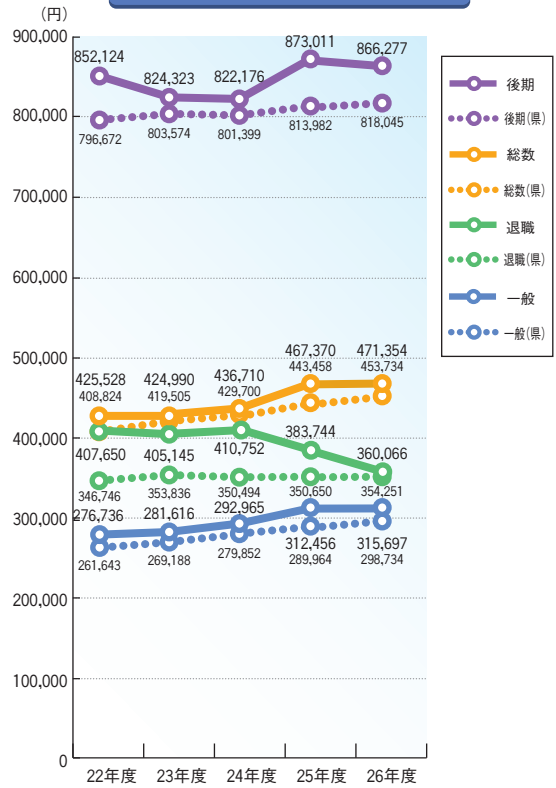
# 壬生町



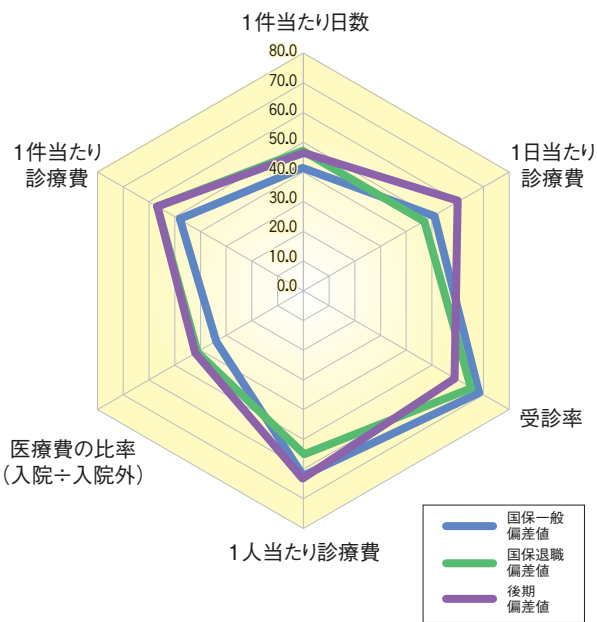
## 医療費の推移



## 1人当たり医療費の推移

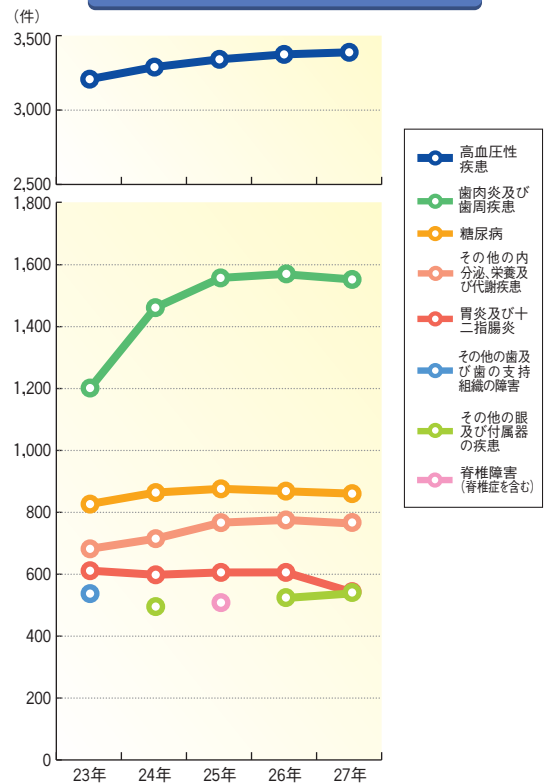


## 平成26年度 3要素と医療費諸費(県平均との比較)

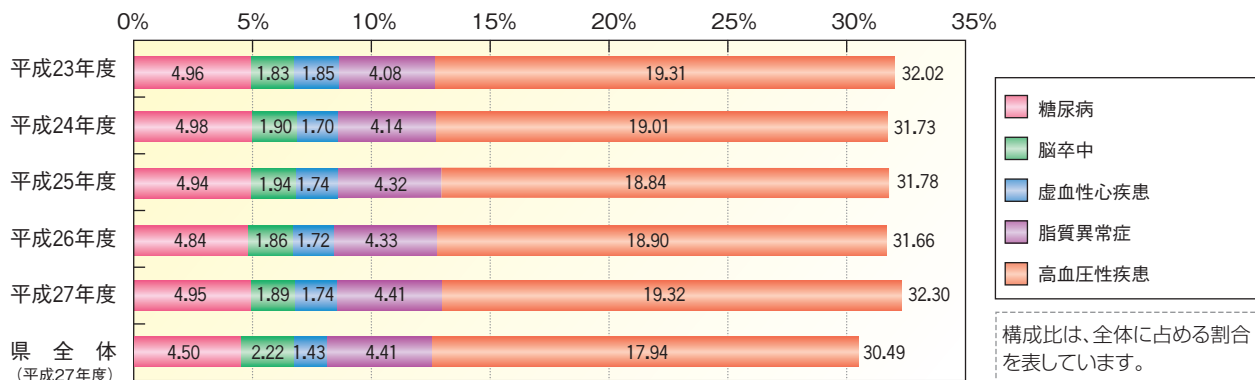


レーダーチャートでは、全ての軸のスケールは偏差値として統一されています。栃木県(平均)が50となるため、値が50の頂点を結ぶ正六角形が栃木県のレーダーチャートになり、当該地域の傾向が正六角形のずれ具合として把握できます。

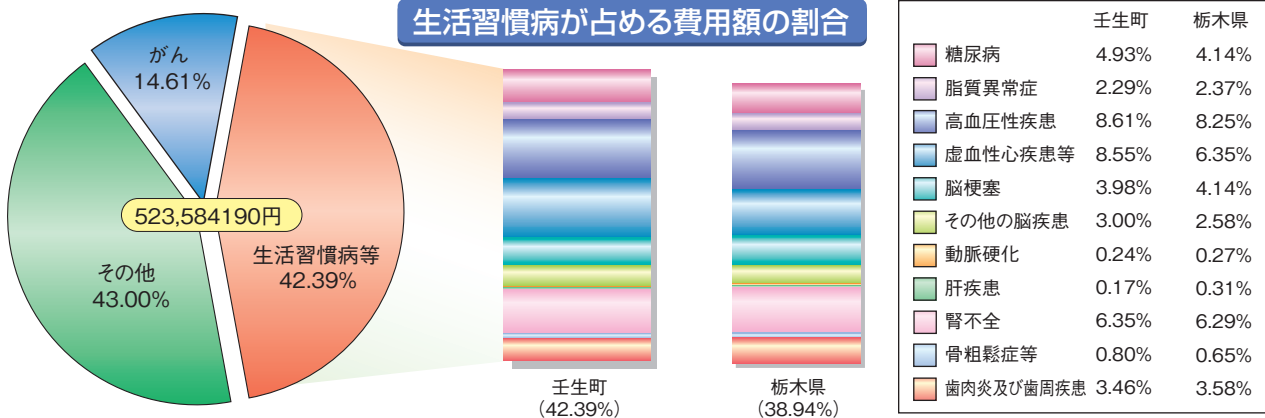
## 多受診疾病上位6位の推移



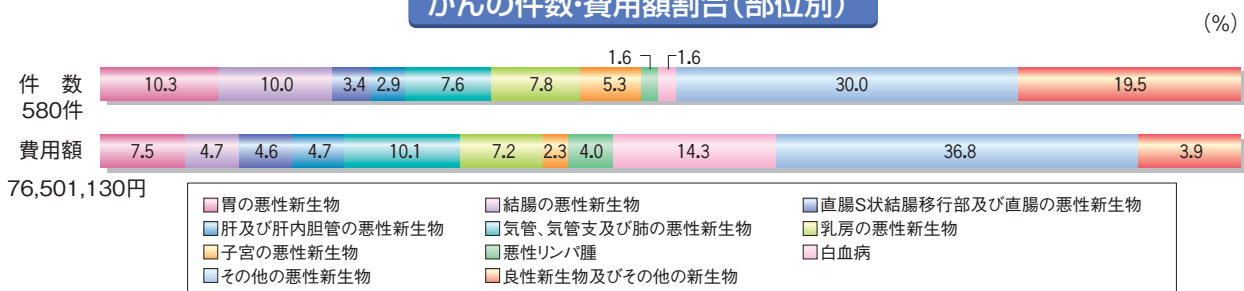
### 生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



### 生活習慣病が占める費用額の割合



### がんの件数・費用額割合(部位別)



### 壬生町の状況

#### ★医療費の状況及び被保険者数

平成26年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般3,472,670千円(98.9%)、退職228,282千円(85.1%)、後期3,910,871千円(101.0%)で、全体では7,611,823千円(99.5%)と減少している。( )は前年度との比較。

平成26年度平均被保険者数は16,149人で、内訳は一般11,000人、退職634人、後期4,515人である。前年度と比較すると全体で98.6%と減少している。

また、平成26年度の1人当たり医療費の推移をみると、総数は471,354円(3,984円増)、一般は315,697円(3,241円増)、退職は360,066円(23,678円減)、後期は866,227円(6,784円減)である。( )は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療諸費の県平均との比較をみると、一般は、1日あたりの診療費、受診率、1人あたりの診療費の諸率がいずれも高く、退職は受診率、1人あたりの診療費が高い偏差値となっており、後期は1件当たりの日数及び医療費の比率以外の項目が高い偏差値となっている。

#### ★疾病の状況

平成27年5月診療分の件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位糖尿病、4位その他の内分泌、栄養及び代謝疾患、5位胃炎及び十二指腸炎、6位その他の眼及び付属器の疾患で、中でも、2位の歯肉炎及び歯周疾患は平成23年に比べ件数で1.29倍、費用額で1.36倍となっている。

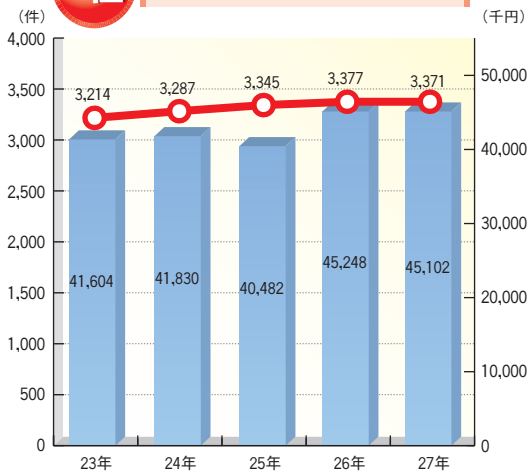
また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、県全体と比べ5疾病全体の構成比はかなり高く、中でも脂質異常症は年々増加傾向となっている。

生活習慣病が占める費用額の割合では、平成27年5月診療分の総費用額が523,584,190円で、がんが14.61%、生活習慣病関連が42.39%を占めている(県全体 がん11.90%、生活習慣病関連38.94%)。費用額の占める割合が高い疾病は、高血圧性疾患8.61%、虚血性心疾患等8.55%、腎不全6.35%となっている。

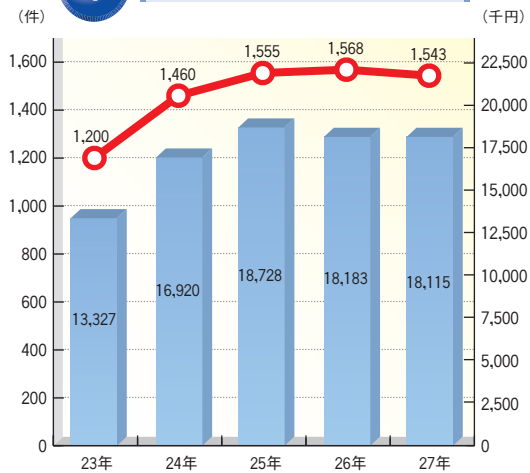
がんの部位別の件数及び費用額の割合は、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数では胃の悪性新生物、結腸の悪性新生物、費用額では、気管・気管支及び肺の悪性新生物、白血病が高い割合となっている。

# 多受診疾病 上位6の年次推移

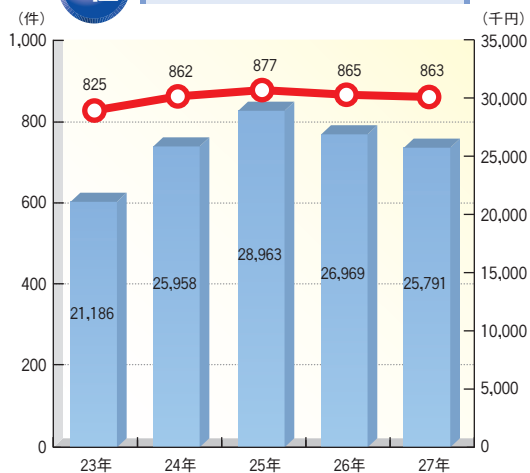
## 1位 高血圧性疾患



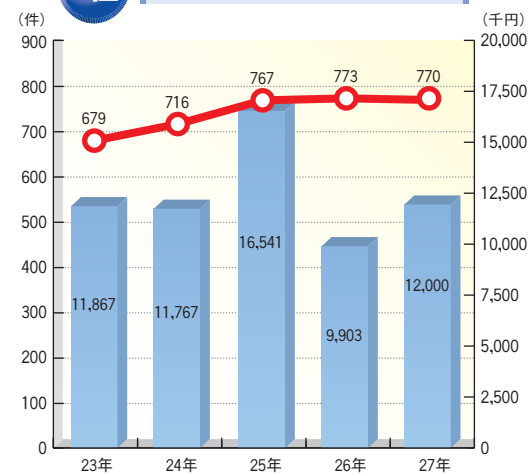
## 2位 歯肉炎及び歯周疾患



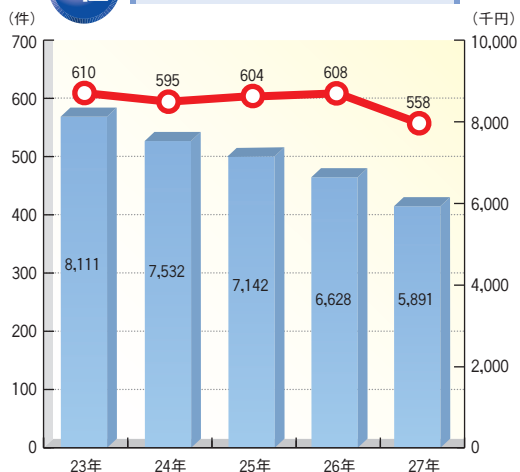
## 3位 糖尿病



## 4位 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患



## 5位 胃炎及び十二指腸炎



## 6位 その他の眼及び付属器の疾患

